

国語科学習指導案

日	時：平成26年1月31日（金）	第5校時（14時15分～15時05分）
学	年：本校 中学部 2年	
授業場所	：本校 中学部2組教室	

1. 単元（題材）名

身近な人の「物語」を探る
インタビューをして文集にまとめる

2. 単元（題材）設定の理由

（1）生徒について

本学級の生徒は、入学時期は一人ひとり異なり、それまでの生育歴や家庭環境といった生活状況、基礎学力の定着などの学習状況も様々である。前籍校において不登校または不登校傾向にある場合が多く、生徒たちの学習の習得状況は個々により異なる。

生徒たちは全体的に明るく、授業ではしっかりとした態度で話を聞き、発問や学習活動に対しても積極的に取り組んでいる。答えがすぐに導き出せる学習活動などは発言する生徒が多く、活発な授業になることが多い。しかし、一部の生徒だけが発言をし、自分の考えていることを率直に述べるできない生徒もいる。

また、全体に指示した内容がきちんと理解できず、思い込みで行動してしまう生徒が見られる。生徒たちのトラブルも、自分の伝えたいことが十分に伝わらなかったり、相手の言いたいことをきちんと理解できなかったりしたことが原因となっていることが多い。

（2）教材について

学習の焦点は、インタビュー前の準備を十分に行い、実際にインタビューをすることである。目的を明確にし、相手から何を引き出したいのかを考えたいうえで、インタビューをさせる。一問一答のインタビューで終わることなく、インタビュー相手との、よい会話のやり取りの経験ができるように配慮したい。

そのために、インタビューのやり取りの具体的なイメージを、教科書のインタビューの例や、CDを活用し、目的に応じた情報を相手から受け取れるような学習をし、貴重なインタビューの機会を生かす。

改まった場を設定し、一人の人と向き合ってインタビューするという体験は、日常会話から一步進んだ「話す・聞く」力を育てる上でも大切であると考え、この単元を設定した。

（3）指導について

【関心・意欲・態度】

- ・テーマを決め、インタビューの相手に応じて適切な取材の計画を立て、準備させる。

【話す・聞く】

- ・話の構成や展開などに注意して、伝える目的に応じて話の要点を聞きとらせる。

【書く】

- ・事実や意図が効果的に伝わるように、情報や表現を工夫して文集にまとめさせる。

【伝統的な言語文化と日本語の特質に関する事項】

- ・相手や場面に応じた適切な表現を用いてインタビューを行わせる。

3. 単元（題材）の目標

- ・インタビューで、話の構成や展開などに注意しながら、話の要点を聞き取ること。
- ・事実や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解すること。

4. 単元の指導計画 指導計画（全6時間）

第1時 学習のねらいと流れを理解し、インタビューの相手とテーマを決める。

第2時 インタビューの質問項目を検討し、インタビューの方法を知る。 （本時）

第3時 計画に基づきインタビューを行い、話の構成や展開に注意して、話の要点を聞き取る。

第4時 構成や表現を工夫して、文集の原稿を書く。

第5時 事実や意図が効果的に伝わるように推敲した原稿を清書する。

第6時 聞き書き文集を読み、感想を伝え合い、友達の文集から学ぶ。

5. 本時の目標

- ・インタビューの質問事項を検討し、インタビューの方法を知る。
- ・インタビューの練習をする。

6. 本時の展開

	学習内容	学習活動	児童生徒支援内容・留意点
導入	1. 質問事項を考え、質問する順序や優先順位を整理し、インタビューメモを作る。	・例を見ながら、五つくらいの質問事項を考え、さらに必ず聞くことを三つ程度選び、印を付けておく。	・質問事項を考えることができない生徒に対して支援する。 ・今の思いを聞く質問は、インタビューの最後に聞く質問として考える。
展開①	2. インタビューの話し方について知る。 3. インタビューの要点を記録する方法を確認する。	・デジタル教科書の動画資料を観て、メモに挙げた質問事項が、実際のインタビューの中でどのように表れているか確認する。 ・話の構成や展開から要点を聞き取るように意識してメモを取ることを知る。	・学習支援システムで、各生徒のTPCに動画画面を配信する。 ・話し方について、具体的に指導する。 ・言葉遣い、挨拶、お礼の言い方についても注意させる。 ・一問一答にならないように、答えてもらったことに対して、感想や意見を述べ、内容を深めるための質問をする。 ・以前に学習した単元の例を参考にする。 ・答えてもらった内容について、数字や人の名前、どんな漢字か不明な言葉などは、その場で確認して正確に記録させる。
展開②	4. インタビューの練習をする。	・取材するときのポイントを確認する。 ・ペアを組んで、インタビューの練習をする。その様子を各自のTPCで録画する。 ・自分のインタビューの様子を観る。	・質問する立場、される立場を体験させ、答えを聞いてからの話の進め方を練習する。 ・尋ね方や聞く態度、答えにくい質問など、指摘し合ったりする。
まとめ	5. 質問事項の手直しをする。	・質問事項で手直しをしたら、手直しをしないか検討する。	・指摘されたことについて検討できているか支援する。

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- ・インタビューの項目をメモに整理することができたか。
- ・インタビューの話し方について留意すべきことを確認できたか。
- ・要点を記録する方法について確認できたか。
- ・インタビューの練習をすることができたか。
- ・インタビューの練習をし、手直しするところはないか検討することができたか。